



漆原 さくら

《サマーエスケープ》2019年 和紙に岩絵具



中村 ヒカル

《Beginning#6》2019年 陶芸

TRIAL GALLERY

若手作家公募個展「トライアル・ギャラリー2022」

主催＝(一財)長野県文化振興事業団

(長野県伊那文化会館、芸術文化推進室、活動支援策ワーキンググループ)

共催＝長野県、長野県教育委員会、伊那市、伊那市教育委員会

協力＝信州ミュージアム・ネットワーク事業 参加学芸員

2022

7/29 FRI → 8/7 SUN

9:00－17:00 月曜休館 入場無料

長野県伊那文化会館 美術展示ホール

7/30 SAT 14:00～ 作家によるギャラリートーク

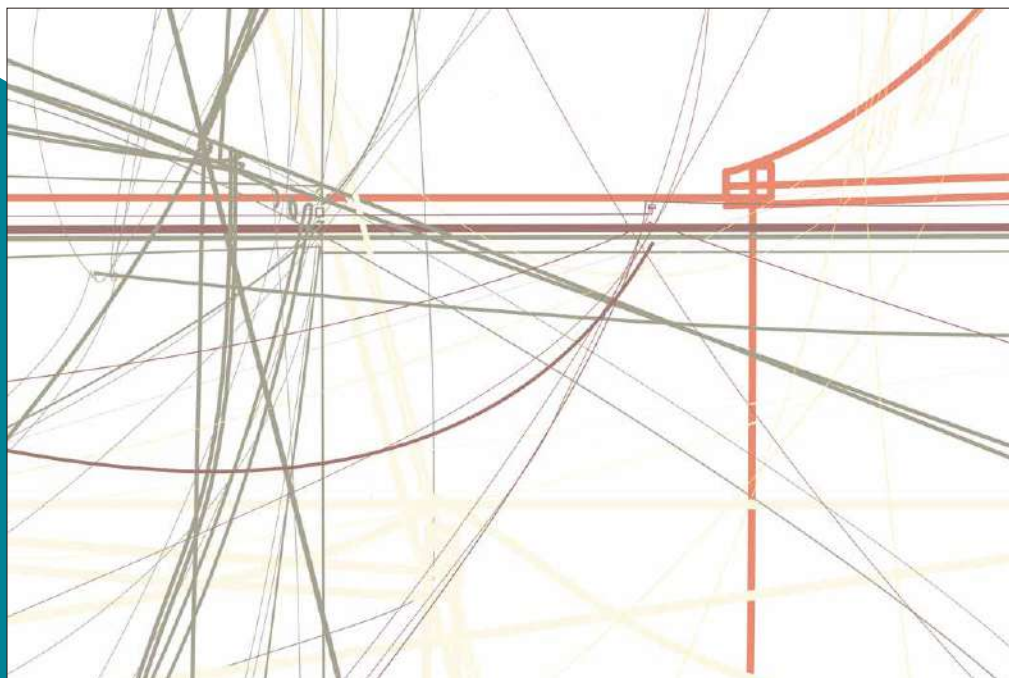
3人の作家が作品解説を行います。

長野県伊那文化会館

〒396-0026 伊那市西町5776 TEL0265-73-8822

※本展は新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催します。中止・延期、または内容の変更を行う場合がございますので、あらかじめご了承ください。

最新情報につきましては、お問合せいただくか、ホームページをご覧ください。



小麻 智美

《IRD》2022年 デジタル

たべる、えがく、いきる展 — 漆原 さくら

大学在籍時から「食」をモチーフに制作する。卒業後に地場野菜を扱う八百屋を経験する中で、誰もが「食」を通して足元の大地(自然)と繋がっていることや、その繋がりが希薄化してきていることを実感。その後、故郷辰野町で自分の食べる物を一から作ることに挑戦しながら、「食」の生まれる場所やその本当の姿を描き伝え、「人」と「自然」の距離を近づけようと試みる。本展では、悩みながらも日々食べると描くを繰り返す中で生まれたこれまでの作品を並べる。



1993 長野県松本市に生まれ、辰野町で育つ
2018 武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒業
現在 辰野町で食べ物絵師として制作活動をする

●おもな作品発表歴

2016 グループ展 (フリュウ・ギャラリー／東京都)
2017 個展「食べ物絵師の台所」(GALLERY BOBBIN／東京都)
2017 個展「おのこしはゆるしま展」(武蔵野美術大学／東京都)
2018 武蔵野美術大学卒業制作展(武蔵野美術大学／東京都)
2018 二人展「食を描く人×器を作る人」(赤坂 Jalona／東京都)
2019 高島屋2019年中元、お歳暮メインビジュアル担当
2020 二人展「地球へのピクニック」(赤坂 Jalona／東京都)
2021 グループ展 (レクトヴァーソギャラリー／東京都)
2022 個展「漆原さくら展」(428cafe+／東京都)



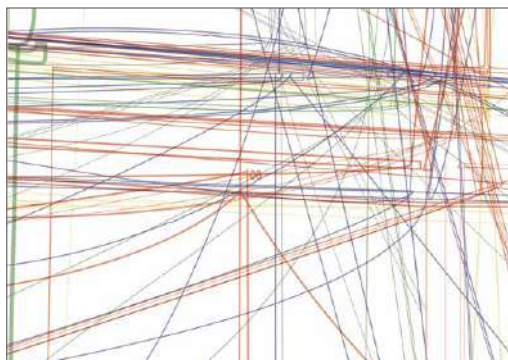
『チニアン』
2021年～
紙に印刷

Going diagonally — 小麻 智美

進むという言葉は前向きすぎる。私は時と歩みを斜めに行ったりする。脱線しながら絵画に執着したり、軸を欲しがったりする。絵画と他の表現手段を行き来しながら、テーマや表現方法はいつも自由に思いつき、新しいことを実験的に取り入れて制作してきた。今回は伊那市の街並みを取り入れた作品も何点か展示します。イメージやジャンルといった囲いから解放され、軽く浮いているような気分でご覧いただければと思います。



1986 長野県阿南町生まれ
2009 東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
現在 長野県阿南町在住
●おもな作品発表歴
2013 原始感覚美術祭(旧中村家住宅／大町市)
2019 個展Art Complex 2019 (有鄰館／群馬県)
2021 個展Neutral(アートハウス／飯田市)
2021 個展 転展再開(アンフォルメル中川村美術館)
●おもな受賞歴
2014 トーキョーワンダーウォール2014入選(東京都)
2014 中信美術展 中信美術会賞(松本市美術館)
2019 南信美術展 下伊那郡町村会長賞(飯田市民館)
2021 南信美術展 南信美術会賞(飯田市民館)



《MTD》
2018年 デジタル

遠くと近く — 中村 ヒカル

「空想」がテーマ。不安や恐怖など、とてもネガティブな心の状況を、空想することを通してポジティブなイメージに変える方法として、制作を行う。空想というフィルターを通して現実世界を見ることが、少しでも現実世界を自分自身が生きやすくなりたいと考えるからである。モチーフとなっているのは身近な生き物や生まれ育った長野の山など、有機的な形である。土を成形して焼成し完成させる陶芸の技法で制作した立体物とレリーフを展示する。



1994 長野県伊那市生まれ
2019 京都芸術大学大学院修士課程修了
現在 京都で制作

●おもな作品発表歴

2016 個展「あなたのおともだちになりたい」(マロニエ／京都)
2018 個展「HAPPY BIRTHDAY」(同時代ギャラリー／京都)
2019 アーティストフェア京都(文化博物館／京都)
2019 スターバックス京都バル店 作品展示
2021 個展「生活と空想」(陶磁器会館／京都)

●おもな受賞歴

2017 京都芸術大学卒業展 奨励賞
2017 わん・碗・ONE展2017 優秀賞
2019 京都芸術大学大学院修了展 優秀賞



《カメおどる》
2020年 陶芸

若手作家公募個展「トライアル・ギャラリー2022」

長野県伊那文化会館では、2014年より、長野県にゆかりのある若手作家を応援するため、個展の開催を希望する作家を公募で選び、美術展示ホールを無料で提供する、若手作家公募個展「トライアル・ギャラリー」を行っています。今回より新たに信州ミュージアム・ネットワーク事業に参加する県内の学芸員等にも参画いただき、審査・展示アドバイス体制を拡充して展覧会を実施いたします。

3人の作家の個性あふれる展示をお楽しみください。

新しいロゴの意味 | "trial"のtri=3に、次の3つの意味を込めています。

- ①3人の作家の個展
- ②トライ=「新しい目標に向かって挑戦」する展覧会
- ③作家、会場スタッフ、信州ミュージアム・ネットワーク事業
学芸員の3者が一緒につくる展覧会



長野県伊那文化会館 <https://inabun.jp/>

〒396-0026 伊那市西町5776(春日公園内) TEL.0265-73-8822

交通案内=JR飯田線「伊那市駅」から徒歩約20分、タクシーで約5分
中央自動車道「小黒川スマートIC」より約5分 「伊那IC」より約15分